

FANCT

旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”
平成30年10月発行

vol.132



オリンピック報告会后、学生らと記念写真に収まる鈴木夕湖^{ゆきみ}さん（前列左から5人目：本校物質化学工学科46期生）

Contents

鈴木夕湖選手オリンピック報告会	2
校内体育大会	3
北海道地区／全国 高専体育大会	4、5
国際交流事業	6、7

その他トピックス	8、9
第2学年宿泊研修	
体験入学&オープンキャンパス	
北海道ベースドラニング	
進路状況	10、11
産業技術振興会の企業紹介	11
平成30年度行事予定（11～3月）	12

鈴木夕湖選手オリンピック報告会

7月10日（火）、先の平昌冬季オリンピック・女子カーリング競技で銅メダルを獲得したL S北見の鈴木夕湖選手（物質化学工学科46期生）を迎え、オリンピック報告会が開催されました。吹奏楽部の演奏と盛大な拍手の中入場した鈴木先輩は、ご自身の名前の由来、高専時代の思い出やL S北見結成時の苦労話、そしてオリンピックでの裏話等をユーモア交えて話され、“Welcome 混乱期”など、随所に散りばめられた「珠玉の言葉」に学生達も大いに感銘を受けていました。

講演後、在校生からの質問に余裕の笑顔で答えた鈴木先輩には、中川学生会会長からお祝いの言葉が贈られ、さらに、ご多忙の中駆けつけてくださった谷口高専機構理事長や当時の学級担任の平野名誉教授から、似顔絵の描かれた寄せ書きや本校謹製のストーン形ペーパーウェイトなどの記念品が贈呈され、大変喜ばれていました。旭川高専自慢の先輩を今後も末永く応援していきましょう！



全校学生の拍手の中、笑顔で入場する鈴木先輩



花束贈呈に笑顔がこぼれる鈴木先輩



報告会で紹介された在学時の一コマ



中川学生会会長からお祝いの言葉



物質化学工学科 3年 濱田留那さん画



旭川高専卒業生 鈴木夕湖さん 銅メダルおめでとう！
平野名誉教授・谷口理事長・鈴木先輩・清水校長・中川学生会会長

校内体育大会

5月17日(木)・18日(金)、校内体育大会が開催されました。悪天候のため雨天日程でのスタートとなりましたが、午後から天候が回復したため、学生会の運営努力によって晴天時の競技を部分的に取り入れた大会となりました。フランスからの短期留学生も競技に参加するなど大いに盛り上がり、各クラスの団結が深まったことと思います。総合優勝は4Sで、昨年度に続く大会二連覇を果たしました。



今年度は、これといった大きなトラブルや遅延もなく大会を行うことができ、協力して下さった教職員の皆様、盛り上げてくれた学生の皆さん、こんな僕についてきてくれた執行部のメンバーに感謝がありません。成功はしましたが、まだまだ見直さなくてはならない点が見られたのも事実です。そこはしっかりと改善していきたいと思います！来年度は、初めて競技者側にまわって参加できるので、思いっきり楽しみたいと思います！お疲れさまでした！

(体育大会実行委員長 4M 古川亮太)

私たち4年システム制御情報工学科は、3年、4年と2年連続で総合優勝を果たすことができました。3年生の時は優勝できるとは思っておらず、気が付けば優勝していました。今年度は、前回優勝というプレッシャーがありとても緊張感のある大会でしたが、とても楽しむことができました。各種目で1位を取ることはできませんでしたが、良い成績を残し総合優勝を勝ち取ることができて本当に良かったです。来年度は、「全種目優勝」を目指し頑張ります。

(総合優勝クラス代表 4S 沖田優人)

北海道地区／全国 高専体育大会

北海道地区大会

7月7日（土）・8日（日）（陸上競技は6月24日（日）、アーチェリーは7月14日（土）、バスケットボールは7月14日（土）・15日（日）、第54回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会が競技種目ごとに道内高専4地区にて開催され、剣道部、硬式テニス部、ソフトテニス部、野球部および陸上競技部が全国大会への出場権を手にしました。

団体種目	結果	個人種目	結果 (3位以上)
陸上競技（釧路）	4位	男子三段跳び 1 C 白井紀晶	2位
剣道（釧路）	男子 3位 女子 優勝（不戦勝）	男子 3 S 杉山太一 女子 1 M 北村沙羅 5 C 田中夢乃	準優勝 優勝 準優勝
硬式テニス（函館）	4位	男子ダブルス 4 E 藤田海斗・3 M 牧野開陸 男子シングルス 4 M 元木裕登	優勝 3位
ソフトテニス（苫小牧）	男子 優勝	男子ダブルス 4 M 齊藤祐斗・4 C 佐藤未悠 女子ダブルス 4 C 太田優花・3 C 西山侑那 2 C 砂村陽香・4 C 近藤眞生 女子シングルス 4 C 太田優花	優勝 準優勝 3位 3位
卓球（苫小牧）	男子 4位	女子シングルス 4 C 西脇綾乃	3位
柔道（旭川）	—	73kg級 1 C 長谷川祥輝	3位
野球（函館）	優勝		
バスケットボール（函館）	男子 4位 女子 準優勝		
アーチェリー（旭川）	3位		
バレーボール（旭川）	男子 3位 女子 4位		
サッカー（苫小牧）	4位		
バドミントン（苫小牧）	男子 4位 女子 4位		



サッカー部（白）



バレーボール部（男子）



バスケットボール部



アーチェリー部



バレーボール部（女子）



バドミントン部



柔道部



卓球部

全国大会

8月下旬、第53回全国高等専門学校体育大会が九州沖縄地区にて開催されました。それぞれ、台風接近や酷暑等に悩まされながらも、精一杯競技に臨んでいました。

クラブ	種目・出場選手	開催地	結果
剣道部	男子個人；3 S 杉山太一 女子団体 女子個人；1 M 北村沙羅、5 C 田中夢乃	久留米市	男子個人；1回戦敗退 女子団体；予選リーグ敗退 女子個人；2回戦敗退（北村）、 1回戦敗退（田中）
硬式テニス部	男子ダブルス；4 E 藤田海斗・3 M 牧野開陸	熊本市	1回戦敗退（対福島高専ペア 2-8）
ソフトテニス部	男子団体 男子ダブルス；4 M 斉藤祐斗・4 C 佐藤末悠	熊本市	男子団体；予選リーグ敗退 男子ダブルス；初戦敗退 （対松江高専ペア 2-4）
野球部	-	都城市・ 小林市	2回戦敗退（対久留米高専 5-6 X）
陸上競技部	男子三段跳び；1 C 白井紀晶	熊本市	12m28(+0.5m) 22人中20位



今年は全国大会に男子1人、女子2人が参加しました。私は初めての全国大会で緊張していましたが、顧問の先生や先輩方のおかげで安心して試合に臨むことができました。男子は個人戦、女子は団体戦と個人戦両方に参加しました。結果としては女子団体戦は予選敗退、男子個人戦は1回戦敗退、女子個人戦は1・2回戦敗退となりました。もう少し上位を狙えると思っていた分、とても悔しいです。
来年に向けて、今年全国に行けなかった5年生の先輩方の分も、男女ともに団体・個人で全国出場できるよう稽古に励みたいと思います。（剣道部 1 M 北村沙羅）

硬式テニスの全国大会は熊本で開催され、北海道とは比べものにならないほど暑く、到着した時にはいつもと違う環境に驚いてしまいました。試合当日は台風が近づいており試合が行われるか不韋でしたが、無事に晴れて福島高専との試合ができました。結果は初戦敗退という不甲斐ない結果で終わってしまい、全国大会のレベルの高さを痛感しました。この悔しさを糧に来年旭川で開催される地区大会で優勝して、全国大会に出場できるよう練習を重ねたいと思います。（硬式テニス部 4 E 藤田海斗）

今年の全国大会は熊本県で行われました。結果は、グループリーグ敗退に終わりました。気温、湿度などの環境の違いや全国大会の雰囲気完全にやられてしまい、普段通りにプレーする事が出来ませんでした。技術面でも大きな差があり、特に大事なポイントでの勝負強さや決定率、粘り強さなどに大きな壁があるなと感じました。来年に向けて少ない時間の中、意識を高く持ち、質の高い練習を部員や顧問の先生方と協力して頑張っていきます。（ソフトテニス部 4 M 斉藤祐斗）

2年連続の出場となった全国大会の初戦は、宮崎県の小林総合運動公園野球場にて前回大会準優勝の久留米高専との試合でした。9回が終わって4-4の同点で、延長タイブレークを行い5-6で惜しくもサヨナラ負けでした。チーム全員、全力で戦った結果なので悔いはありません。目標であった全国大会優勝をすることは出来ませんでした。チームの主力のほとんどが3、4年生にいますので、来年こそは全国大会優勝を成し遂げて欲しいと思います。（野球部 5 E 今野佑哉）

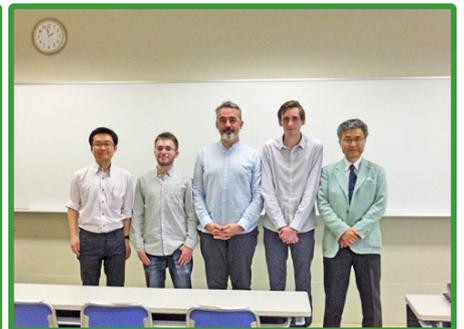
陸上競技は8月18日・19日に熊本県熊本市で行われました。会場は市内から離れており、移動が大変な大会でした。熊本に行った日は雨がほんの少し降っているような天気でしたが、前日練習では快晴となりました。九州ならではの暑さが、道民には厳しいものとなりましたが、無事に終わることができて本当に良かったです。今回の大会の出場種目は三段跳びでした。結果は20位と、良い結果とは言えないものになってしまいましたが、自己ベストを更新できたので、私の出来る最大限のことをして帰ってくることができたと思います。今後も技術を高め、より良い結果を全国大会で出せるよう、努力して行きます。（陸上競技部 1 C 白井紀晶）

国際交流事業

(1) インターンシップ学生の受け入れ

昨年度に引き続き、本校と学術交流協定を締結している大学からインターンシップ学生の受け入れを実施しました。4月6日（金）～7月1日（日）、フランス・ヴァランシエンヌ大学からBROUSSARD Florian君（笹岡研究室）およびCABUSAT Bastien君（千葉良一研究室）が、5月25日（金）～7月26日（木）には、タイ・カセサート大学からNattida CHANPHOSRIさん（松浦研究室）、Vaetanee KOETMUANGSAMUTさん（堺井研究室）およびKasidit KEEREEWARN君（篁研究室）が来校し、それぞれ数か月間にわたって日本文化に触れつつ研究を遂行し、また、研究室の学生を中心に本校学生と交流を交わしました。

フランス・ヴァランシエンヌ大学



タイ・カセサート大学



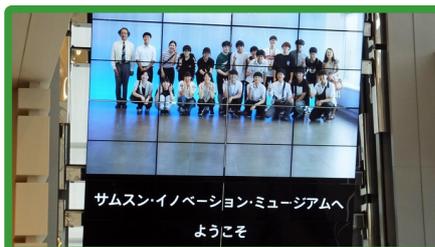
(2) 水原ハイク高等学校交流事業

今年度で8回目となる標記交流事業が実施されました。7月11日(水)～17日(火)には本校への受け入れ事業が実施され、来校した10名の生徒は明誠寮に宿泊しながら各学科の特別授業を受けたり、休日にはチューター学生と札幌へ出向くなどして交流を図りました。



僕は昨年水原ハイク高校受け入れの際にチューターをやりました。最初は言葉と文化が違うなかでコミュニケーションを取ることをとても不安に思っていました。ですが、いざチューターをやってみると、ほとんどの学生が日本語を日常会話レベルで話すことができたのでコミュニケーションを取るに当たって全く支障はありませんでした。しかし、英語で少し話しかけられた時などに自分の英語能力の無さを痛感し、英語を勉強するモチベーションが高まりました。1人につき1人担当の学生は決まっていますが、全員ととても仲良くなって、たくさんの思い出を作ることができました。この交流でチューターを経験することができてとてもよかったです。(3E 高橋杜明)

また、8月22日(水)～28日(火)には本校から同校への派遣事業が実施されました。今年も、9名の参加学生と教職員は大変温かなお持てなしを受けながら、貴重な異文化経験を積むことができたようです。



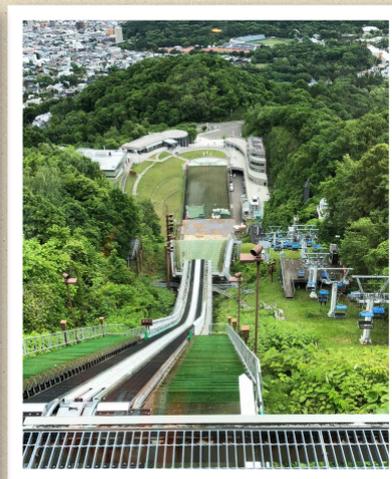
8月22日～28日、水原ハイク高校へ3年生8名、2年生1名で行って来ました。韓国の学生は勉強熱心で、朝から夜まで続く授業を受けた後も寮の学習室で勉強しているようで、差を感じました。私にはできません…。また、学生間、学生教師間の上下関係が確立しており、手先を揃えお辞儀をして挨拶をしていました。正直、旭川高専にはない光景でした。滞在中、チューター達が日本語で一生涯懸命話してくれて、不自由なく楽しむことができました。日本語が話せない学生とも通訳をしてくれて、韓国語の勉強にもなり感謝しています。この交流を通じて仲良くなった友達と、また会って話ができるようにお互いの言語の勉強を決めました。来年旭川に来たいと言っていた友達のためにも、勉強を頑張りたいです。(3C 谷野友香)

その他トピックス

第2学年宿泊研修

6月21日(木)・22日(金)、第2学年宿泊研修を実施しました。最初に訪れたのは大倉山ジャンプ競技場。スポーツミュージアムでは、シミュレーターによるスキージャンプやボブスレーを疑似体験する一方、選手さながらリフトでシャンツェを昇り、眼下に札幌市を眺望するなど、仮想と現実の両面からウィンタースポーツについての見識を深めました。午後からは小樽に移動し、どこかノスタルジックな雰囲気が漂う市内で自主研修。運河や歴史的建造物などの名所巡り、海鮮丼や蒲鉾などのご当地グルメ探訪、ガラス工房での「とんぼ玉」製作体験等、思い思いの研修を楽しんだようです。

2日目は、札幌市内のアサヒビール工場にてビールの製造工程を見学した後、隣接レストランで焼肉バイキング！お腹が一杯になった後は、野幌にある「北海道開拓の村」へ。開拓の歴史を再現したリアルな展示物や馬車鉄道などを見学から、命名150年を迎える北海道の開拓の歴史を学ぶことができました。短い日程でしたが、見識と友情を深める有意義な研修となったようです。



体験入学&オープンキャンパス

7月28日(土)・29日(日)の両日、「体験入学」が実施され、専門4学科の特徴を生かした実験・実習、各実験室・施設での実演、キャンパスライフの紹介などが行われました。今年度は、過去のアンケート結果を基にフリータイムを多く確保し、より自由に各コーナーを見学できるようにした結果、これまで以上の好評を得ることができました。2日目は今季最高気温を記録するほどの暑さとなりましたが、在学生の生き生きとしたキャンパスライフの紹介や実験指導からも、本校の魅力が十分に伝わったと思われます。



一方、広く地域の方々に本校を知って頂くための「オープンキャンパス」。3年目の今年は9月2日(日)に開催されました。工業高専の教育・研究内容や国際性、学校生活等の紹介コーナーに加えて、幅広い年齢層の方々が楽しめる内容の展示や体験コーナーも設けられ、さらに今年は「カート試乗体験」や「ドローン操縦体験」などの新企画も登場しました。来校された方々には親子づれも多く、晩夏の休日を楽しく過ごして頂けたことと思います。

北海道ベースドラーニング

現在、本校では「北海道ベースドラーニングプログラム」を展開中です。これは、食品・農業・医療・福祉等これまで関わりの薄かった分野と、従前からの得意分野(AI・メカトロニクス・バイオなど)を融合させ、21世紀の北海道を支える工学系人材を育成しようとする試みであり、平成29年度に、高専機構が実施している「KOSEN 4.0イニシアティブ」事業に採択された事業です。開設されたPBL(課題解決型学習)科目では、「持続効果を持つエゾシカ避け装置の開発」や「スノーダンプの改良」などのテーマの下、チームを組んでその解決に向けた取り組みが行われ、9月20日(木)にはその発表会が開催されました。



進路状況

今年度の進路状況に関して、5年生の各学級担任と代表学生に質問してみました。

担任編

設問1 クラスの就職と進学割合は？

設問2 就職内々定者数を教えてください。

設問3 内々定者の道内企業と道外企業の人数を教えてください。

設問4 内々定先の企業名を5社挙げて下さい。

設問5 就職活動で必要と思われるスキルや事前準備等を教えてください。

設問6 4年生のインターンシップには行くべきだと思いますか？また、その理由を教えてください。

設問7 今後、就職を予定している4年生以下の学生に対して、就職活動に対するアドバイスやメッセージをお願いします。

機械システム工学科5年（担任 石向桂一）

1 (就職) 7割 (進学) 3割

2 19名(7月17日現在) 3 (道内) 5名 (道外) 14名

4 北海道ガス株式会社、キャンノ株式会社
サッポロビール株式会社、いすゞエンジニアリング株式会社
株式会社JALエンジニアリング

5 就職活動に必要なスキルは、スケジュール管理能力だと思います。各種提出書類のメ切確認や採用面接の旅程調整はもちろんのこと、欠課となる実習・実習の調整や教員との面接練習の時間調整など、全て自分で管理しなければなりません。普段からスケジュール管理が出来る学生は、就職活動にも素早く取り組み余裕を持って行動でき、順調に内々定に結びついています。このスキルを身に付けたいと考えている学生は、提出物をメ切までに提出し、遅刻・欠席しないことを心掛けて下さい。それだけでまずは必要最低限のスケジュール管理能力が身に付きます。事前準備としては、早めに企業研究を開始し情報収集して欲しいと思います。可能であれば、3年生の頃から就職・進学の選択について考えるだけでなく、具体的に就職先候補となる企業をイメージするようにして下さい。そしてその企業の関連企業、子会社、取引先および同業他社について、芋づる式に広く調べて下さい。手がかりとなる企業が思いつかないという学生も多いと思いますが、近年の旭川高専からの就職先やインターンシップ先を足掛かりにすると良いと思います。4年生の夏休みにインターンシップがあり、後期に企業セミナーや企業説明会が複数回あります。名前だけでも知っているという企業が増えれば、就職活動に対するモチベーションも上がることでしょう。

6 就職・進学にかかわらず、インターンシップには参加するべきです。理由は明確で、興味のある企業がどんな職場環境かを直接知るには良い機会だからです。まさに「百聞は一見に如かず」でしょう。インターンシップ参加が必ずしも内々定に直結するわけではありませんが、インターンシップを通じて社員と打ち解けることが出来れば、志望動機につながるアドバイスも入りやすくなりますし、人事の方に良い印象を与えることが出来れば、採用試験本番で落ち着いて面接等に臨むことが出来ます。結果的にインターンシップは就職に有利と考えられます。

7 5年生に進級する前に、必ず「苦労や失敗を乗り越える経験」を積んで下さい。実績よりも、人間として成長した部分を企業の方は評価します。逆に言えば、賞をもらったとしても、苦労や失敗を伴わない場合には評価されません。企業に入社してからの失敗は基本的に許されませんので、失敗が許される学生のうちに、大いに失敗や苦労を重ね、それを乗り越える経験を積んで下さい。ただし、学則や法に触れるような類のものは厳禁です。また、日常的に言葉遣いや行動に気を配って下さい。普段の何気ない仕草や癖は、面接でも必ず出てしまいます。日常の一举手一投足、友人や先生方との会話、家族との生活、それら全てが就職活動の練習だと思って下さい。機械系の学生は「とにかく元気がある」と企業から期待されています。その期待を裏切らないためにも、普段から声を大きく、語尾まではっきり話せるようにしましょう。成績については特に指標はありません。ただし、2人のうち1人しか採用できないという状況になったとき、成績以外が同等の評価であれば、成績の良い方が採用されるのは当然のことです。従って、成績も良いに越したことはないということになります。今からでも遅くありませんので、少しでも成績が向上するようにしっかりと勉強に励みましょう。(なお、成績というのはクラス順位ではなく個人平均点のことです。) そのほか、就職活動のノウハウやテクニクは、4年生のインターンシップ以降に身に付きます。確実なものも存在しますが、定石くらいは知っている方が良いです。特に履歴書の書き方(志望動機や自己PR)については、インターンシップの申請時が練習するチャンスです。また、面接練習はしっかり行っておきましょう。

最後に、近年の就職状況は、売り手市場と言われており、企業から熱烈的なアプローチを受けています。この状況は、世の中の流れもありますが、OB・OGの方々が企業に入社してから築き上げてきた信頼のおかげです。これから就職活動に臨む学生は、その信頼のバトンを引き継いで後輩に繋ぐ責任があることを忘れて下さい。就職活動に謙虚かつ真摯な姿勢で向かい合ってもらえたらと思います。

電気情報工学科5年（担任 宜保達哉）

1 (就職) 5割 (進学) 5割

2 14名(7月10日現在) 3 (道内) 4名 (道外) 10名

4 パナソニック株式会社、北海道電力株式会社、株式会社ASCe
田中貴金属グループ、昭和シェル石油株式会社、

5 就職活動においては、面接が重要な要素となるため、面接官と話す能力が重要になると考えられます。その際、学校生活では接することのないような方と話すこととなります。また、話の内容も仕事の話や学業に関する深い質問がなされることが多いため、学業や仕事、普段の生活について深く考え、どのような質問にも対応できる準備が重要です。

6 インターンシップは、参加した方が自身のためになります。志望する企業が決まっている学生については、インターンシップで好印象を残すと、後の就職活動で有利になります。また、志望企業が決まっていない場合は、企業の業務内容を肌で感じる良い機会です。そのため、インターンシップに参加することによって志望が固まり、就職活動において、志望動機をはっきりさせることができます。

また、進学を希望している学生に関しても、将来的には就職することになると思います。そのため、事前に企業の業務内容を知ること、自身が進学先で学ぶ事柄が社会でどのように役立つのかを学べば良い機会となります。

7 就職活動において最も重要なことは、学業に力を入れて学生の本分を全うすることです。加えて、受験する企業の志望動機も非常に重要です。自身が面接官になったつもりで考えてみると分かると思います。企業への大した志望動機が無い学生を採用したいとは思わないはずですが、そのため、志望動機をはっきりさせて十分に面接練習を積んだ上で就職活動に臨んでください。

システム制御情報工学科5年（担任 佐竹利文）

1 (就職) 6割 (進学) 4割

2 21名(7月17日現在) 3 (道内) 4名 (道外) 17名

4 日本原子力研究開発機構、北海道電力株式会社
セイコーエプソン株式会社、ファナック株式会社
DMG森精機株式会社

5 (スキル) 自分という人間を分かりやすい言葉で説明することが出来る。知力・体力(志望する企業の求める人材像に対して)素直な態度(事前準備) インターンシップ、工場見学、学内セミナーなどでの情報収集と自己の分析と面接練習

6 インターンシップには行くべきと考えます。多くの科目の成績についての評価が中心である学校とは異なり、企業人との対話を通じて人間性も含めた評価を受けることとなります。殆どの場合、学校での成績が悪くても社会に出ることに対してポジティブな気持ちになります。技術者として働くという具体的なイメージを描けるようになることもあり、就職活動に対して自信をもって臨むことが出来るようになります。

7 50年以上の高専の歴史で、先輩たちの努力と実績により高専卒業生に対する期待は非常に高く、大学院卒、大学卒以上の評価を受けています。高専生を求めている企業は、何れも世界で戦っている企業です。謙虚さと、素直さを忘れずに、自分が成長できると思う企業にチャレンジしてください。

物質化学工学科5年（担任 千葉 誠）

1 (就職) 3-4割 (進学) 6-7割

2 16名(7月20日現在) 3 (道内) 4名 (道外) 12名

4 旭化成株式会社、JXTGエネルギー株式会社、三井化学株式会社、株式会社カネカ、サントリーホールディングス株式会社

5 一言で言えば自己分析です。自分がやりたいこと、興味のあること、自分の長所、高専在学中に力を入れてきたことなどが自身の頭の中でしっかりと整理されているかが最も重要だと思います。

6 行くべきかどうかは本人が判断することかと思いますが、インターンシップでしか得られない経験や情報が多いのは間違いのないと思います。

7 “やりたくないこと”ではなく、“やりたいこと”を見つけ、進路決定すると良いと思います。

- 設問1 内々定を得た企業は？
 設問2 就職試験を受けた企業数は？
 設問3 内々定を得た企業の志望理由や志望の決め手は？
 設問4 4年生の時に、インターンシップへは参加しましたか？参加した場合、感想と経験を就職活動にどのように活用したのかをお答えください。
 設問5 就職活動に関して、どのような準備をいつごろ開始しましたか？
 設問6 就職活動で最も重要だと思った事は何ですか？
 設問7 就職活動において、これはもっとやっておくべきだったと思うことがあればお答えください。
 設問8 就職もしくは進学する後輩へのアドバイスをお願いします。

機械システム工学科5年（濱塚広大）

- 1 キヤノン株式会社 2 1社
 3 私はカメラに興味があったので、カメラを取り扱っている企業から就職先を決めようと思っていました。その中でキヤノン株式会社は全体の評価や昇給の制度などがとても魅力的に感じました。また、インターンシップに参加していたこともあり、少しでも有利に就職試験を進めることができるのではないかと思います。志望しました。
 4 参加しました。私の場合、インターンシップ先が就職試験を受けた企業だったので、インターンシップに参加した時の経験やその場で聞かせてもらった高専卒の社員の方々の話をエントリーシートや面接に活用しました。
 5 1月下旬の企業セミナーに参加した後から様々な企業の情報を調べました。具体的にはホームページや企業パンフレットを使って調べました。春休み中では就職活動に取り掛かりたかったので、その前までに就職活動先を決めました。
 6 何事にも素早く取り組むことです。就職活動先を決める、エントリーシートを完成させる、面接練習に取り組む、就職活動にあたって飛行機やホテルの予約を取る。就職活動ではやるのが本当に多かったので、どれも素早く行わないと期限に間に合わなくなってしまうので。
 7 自分が志望する職種と高専で勉強したことの繋がりをもっと調べておくべきだったと思います。私の場合「高専の勉強で何かこの仕事に関わる勉強はしましたか？」という質問を面接官にされました。その質問に対する答えが曖昧になってしまったのでちゃんと調べる必要があったなと思います。
 8 進学もそうだと思いますけど、就職活動はほとんどが自分から活動をしないといけないので、怠けないように頑張ってください。

電気情報工学科5年（高橋一彦）

- 1 田中貴金属グループ 2 1社
 3 インターンシップに参加したことが決め手です。
 4 インターンシップへ参加しました。インターンシップに参加することで、企業の偉い方と話すことができ、面接でガチガチに緊張しないで話すことができました。
 5 3月から開始し、説明会に参加しました。
 6 説明会において、企業への自身の印象が重要です。
 7 面接の練習をもっとやるべきだった。
 8 面接の練習とSPIのお勉強を頑張ってください。

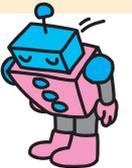
物質化学工学科5年（玉川裕大）

- 1 株式会社三井化学分析センター 2 1社
 3 分析の仕事がしたいと思った点、三交代制ではなかった点
 4 石油会社にインターンシップに行ったのですが、その時点でどちらかといえば進学希望で、単位を取ることが主な目的でした。そこで石油の成分調査の仕事をしている試験課を見学しに行った時、高専卒でも大企業で分析の仕事ができることを知り、就職を希望するようになりました。
 5 春休みに自主参加の「高専生のための企業セミナー」に参加し、その頃から興味のある企業のホームページを調べ始めました。面接練習は先生と面接の一ヶ月前から始めました。
 6 インターンシップで会社について学ぶこと
 7 インターンシップはもちろん、インターンシップとは別の企業に就職したい場合でも、会社見学を行なっている企業が多いので、それらには参加しておくべきだと思います。僕はやらなかったのですが、簡単な資格ぐらいは取っておくべきだったと思います。
 8 就活はインターンシップから始まっていると思うので、特に就職希望の人は慎重に企業を選ぶべきだと思います。また、企業セミナーはたくさんの企業について知る事ができるので参加した方が良いと思います。

システム制御情報工学科5年（舟木良太）

- 1 ファナック株式会社 2 1社
 3 ファナック株式会社の機械は学校の工場でも使用されていたり、世界中に高いシェア率で機械を輸出しているのを知って興味を持ちました。さらに、工場見学に参加し会社の設備や事業について聞くことができ、以前から私は機械の点検・保守といった仕事をしてきたため志望しました。
 4 インターンシップには参加しました。そこでは入社1年目や2年目の先輩方と話す機会があり、就職活動の時の話や社会人になっての感想など貴重な話を聞くことができました。
 5 4年生の終わりから春休みにかけて興味を持った企業について調べたり、企業の見学会に参加したりしました。
 6 面接の時などに、あまり緊張しすぎないで自分のことをしっかりと笑顔で話すことが大切だと思いました。
 7 何か、学校の授業以外の活動をしておくと、その経験を面接で話せたり履歴書に書くことができたりするのはよいと思います。
 8 自分の進路を決めるのは難しいことですが、小さなことでも毎日コツコツと続けていって自分の目標に向かって頑張ってください。

ご回答いただきました皆さまには、感謝申し上げます。



産業技術振興会の

企業紹介

平成14年、旭川高専と地域産業界との交流・連携を活性化し、双方のレベルアップと地域社会発展への寄与を目的とした「産業技術振興会」が設立され、現在、地域の企業63社が会員となっています。これらの会員企業について、本号から毎号2社ずつご紹介させていただきます。

No.1 株式会社エフ・イー

会社概要

- 設立：1959年4月、資本金：2,500万円
- 従業員：32名
- 業務内容：各種根菜類の洗浄機・選別機・皮むき装置等の設計・製造・販売、車載型ろ材洗浄選別装置 設計・製造、各種根菜類洗浄選別梱包施設 等



代表取締役社長 佐々木 通彦

アピールポイント 弊社は、大根や人参イモ類等の根菜類を中心とした洗浄・選別機の製造メーカーです。弊社の機械は日本全国でご使用頂き、近年は海外へも販路を伸ばしています。創業60年を迎える弊社の「ものづくり」における基本理念は「Simple is Best」。お客様に満足して頂ける機械をシンプルに仕上げることを目指しております。つまり、シンプルな機械は複雑な機械に比べ、安価で修理が容易です。そのため、設計から製造まで一貫して自社で行っております。社員の平均年齢は37歳。20代30代の若い世代が会社を担っています。この若い力が、会社の未来ビジョンを真剣に考え、今まで以上に世界に視野を広げています。旭川を起点に「ものづくり」のグローバル化を目指している弊社としても、若い貴重な人財が地元旭川で就職をして頂けることを願っております。

連絡先

旭川市工業団地3条2丁目2番27号
 TEL:0166-36-4501
<http://fesystem.co.jp>



No.2 株式会社コンピューター・ビジネス

会社概要

- 設立：1963年6月、資本金：1億円
- 従業員：203名
- 業務内容：ITコンサルティング、業務システム設計・開発・保守、ネットワーク構築・監視、データセンターサービス、ホームページ作成、ビジネスソフト・機器用品販売



代表取締役社長 阿久津 秀人

アピールポイント 弊社は設立から55周年を迎え、その間に培った各種システムをベースとして全国にソリューションを展開している企業です。柱の事業としては自治体向け、交通事業者向け、クレジット事業者向けの3つのソリューションを提供しており、今後もこれらをベースに事業拡大を目指します。加えて、旭川に道北初のデータセンターを開設しており、堅牢なシステムと自然災害の少ない地域性をアピールして、データセンターサービスやクラウドサービスなどを提供しております。

旭川高専様には産学連携として、相互の技術交流と就職応募を期待しております。

連絡先

旭川市緑が丘東1条4丁目2-14
 TEL:0166-65-4511
<https://www.cbnet.co.jp/>



行事予定

平成30年度
11~3月

11月	10日(土)	平成31年度専攻科後期学力・社会人特別選抜試験
	19日(月)~22日(木)	後期中間試験(本科)
	25日(日)	ロボコン全国大会(東京)
	29日(木)	就職適性検査(本科3年・専攻科1年)
12月	6日(木)	第4回TOEIC IPテスト
	13日(木)	学生会役員選挙立会演説会(本科)
	14日(金)	学生会役員選挙(本科)
	15日(土)	学内セミナー(本科, 専攻科)
	25日(火)~1月11日(金)	冬期休業
1月	15日(火)	授業開始
	17日(木)	第5回TOEIC IPテスト
	19日(土)	平成31年度本科推薦選抜試験
	21日(月)	就職模擬面接(本科4年・専攻科1年)
	24日(木)	学生総会(本科)
2月	5日(火)	卒業研究発表会(本科5年)
	8日(金)	特別研究発表会(専攻科2年)
	13日(水)~20日(水)	学年末試験(本科)
	13日(水)~3月31日(日)	学年末休業(専攻科)
	17日(日)	平成31年度本科学力選抜試験
3月	5日(火)~31日(日)	学年末休業(本科)
	20日(水)	卒業証書授与式(本科)、修了証書・学位記授与式・JABEEプログラム修了証書授与式(専攻科)

FANCT vol.132

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」（楽しい、愉快的）の音を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しみな学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号
TEL 0166-55-8000 (代表)
FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りいたしております。



編集後記

酷暑、豪雨、台風、地震と、今夏は試練が続きました…。当たり前がいと簡単に当たり前でなくなる昨今、高専を取り巻く環境も厳しさを増す一方ですが、在校生や卒業生の笑顔は「前へ進む力」を与えてくれます。平昌五輪女子カーリングで活躍した鈴木夕湖選手のように、ポジティブな言葉を発し、思考を切り替え、そして実践しながら、来るべき秋冬を迎えたいと思う今日この頃です。秋の夜長、FANCT132号をどうぞお楽しみ下さい。

古崎 睦 (学校広報WG)